

投稿規定

2025. 1 改訂

1. 本誌は手術医学に貢献する投稿論文で、他誌に未発表なもの（原著、報告、総説、解説、症例報告、紹介など）および学術集会記録、学会告示、学会報告ならびに業務経過などを掲載する。
2. 著者および共著者は本学会員に限る（依頼原稿は除く）。総説は原則として編集委員会の依頼によるものとし、その著者は本学会員に限定しない。
3. 原稿は邦文または英文とし（付記1. 参照）、投稿方法はE-mail による送信とする。
 - 1) 原稿に、投稿原稿チェックリスト（次の頁に掲載）を添付する。
 - 2) 電子媒体として使用するファイルの種類は以下の通りとする。
 - ① 本文・図表の説明は、Microsoft Word で作成する。
 - ② 図表は、Microsoft Word, Microsoft Excel またはMicrosoft PowerPoint で作成する。
 - ③ 画像は、JPEG または TIFF で作成する。
4. 原稿の採否は編集委員会にて決定する。編集委員会にて査読者の意見が付いたものは、3ヵ月以内に再投稿する。
5. 掲載は受理順とする。
6. 原稿は初校を著者校正とし、誤字の訂正程度の1回のみとする。
7. 著作権・版権：本誌に掲載された論文の著作権・版権は、日本手術医学会に帰属する。
8. 論文投稿にあたり、「論文投稿のすすめ」（日本手術医学会誌 2022: 43; 108-111.）を参照する。また本会のHPにある論文作成のテンプレートが便利である。
9. 本誌は電子ジャーナルとして出版される。また図表を含めた記事の全文は、PDF形式に加えJ-STAGEではHTML形式により閲覧可能である。
10. J-STAGE 掲載は、出版から1年のエンバゴ期間を設ける。

付記1.（論文の書き方）

1. 表紙に、論文の種類（原著や報告など）、表題、所属、著者名、住所、電話、FAX、E-mail address、キーワード（原著は5語以内、その他は3語以内）、および別刷り希望部数（朱記）を記入する。
2. 原著には要旨として、邦文900字以内と英文500語以内を添付する。英文要旨は、表題、著者名、所属、住所、要旨の順とする。原著以外の論文には、200～600字の邦文要旨を添付する。
3. 邦文原著の場合は要旨、はじめに（目的を含む）、方法、結果、考察、結論、引用文献、図表、英文

要旨の順とする。英文論文や他の論文は概ねこれに準ずる。

4. 倫理的配慮: 人を対象とする医学系研究は、世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守する。また文部科学省および厚生労働省が提示する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守する。倫理審査委員会等の承認を受けている場合は、その承認番号を記載する。
5. 利益相反: 筆頭著者だけでなくすべての著者は、本学会HPから「日本手術医学会誌 自己申告によるCOI報告書」をダウンロードし、必要事項を記入してPDFにて提出する。開示すべき利益相反がある場合は、本文の末尾に関係する企業・団体名等を記載する。
6. 図表は、1点あたり邦文400字、英文200語として換算する。また図表は1点ごと1枚に示す。画像の解像度は300dpi以上が望ましく、図表1点ごとに説明文をつける。
7. 原稿の長さとして、原著と総説は、邦文論文では10,000字以内(図表、文献を含む)、英文論文では5,000語以内(図表、文献を含む)とする。その他の論文は、邦文論文は6,600字以内、英文は3,300語以内とする(図表、文献を含む)。
8. 表題には商品名を用いない。やむを得ず文中に登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、商標名の末尾右肩に®を付ける。
9. 邦文原稿の図表およびその説明は、邦文とする。
10. 引用文献は原則として20編以内とし、引用順に本文の末尾に一括し、バンクーバー形式(Br Med J 1988; 296: 401-405.)で記載する。邦文誌名は省略せず正式名称を用いる。英文誌名は Index Medicus に従う。著者名が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合は初め3名を記載し、以下は”ほか”、または“et al.”とする。著者のイニシャルの後のピリオドは不要である。引用文献における英文誌名や年、巻、頁の英数文字と句読点は、半角文字を用いる。WEBサイトから引用する際は、URLと参照日(西暦年月日)も記載する。

(例)

- 1) 深澤佳代子, 西村チエ子: 手術室における看護事故の分析. 日本手術医学会誌 1997; 18: 425-428.
- 2) 尾家重治: 消毒・滅菌に必要な器材, 小林寛伊編集, 厚生労働省保健医療局結核感染症課監修. 消毒と滅菌のガイドライン. 東京: へるす出版 1999; 116-126.
- 3) Horan TC, Gaynes RP, Martone WJ, Jarvis WR, Emori TG: CDC definitions of nosocomial surgical site infections 1992: a modification of CDC definitions of surgical wound infections. Infect Control Hosp Epidemiol 1992; 13: 606-608.
- 4) Platt R: Guidelines for perioperative antibiotic prophylaxis. In: Abrutyn E, Goldmann DA, Scheckler WE, eds. Saunders Infection Control Reference Service. Philadelphia: W. B. Saunders Co 1997; 229-234.

- 5) 厚生労働省. 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス.
<https://www.mhlw.go.jp/content/000769923.pdf> (2021年7月12日閲覧)

付記2.(掲載料)

1. 規定字数以内は無料とし, 超過分は実費を徴収する(1頁あたり 12,000円×頁分)。
2. カラー写真やカラー図表の投稿における追加費用は不要である。
3. 別刷りは有料とし、HPに費用を掲載する。表紙に必要部数を朱記する。

原稿送付先および連絡先:

日本手術医学会誌 編集事務局

Email: jaom-editorial@nacos.com

TEL: 03-3816-0738, FAX: 03-3816-0766

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目27番地16 大学通信教育ビル5階